



初詣 新年の無事と平安を祈願（鈴木神社）



第85号 (H. 24. 2. 1発行)

南海寮 編集部

熊本県天草市本町下河内1685-1

TEL 0969-23-3850

FAX 0969-22-4977

Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.nankairyuu.or.jp/>

年頭所感

利用者を取り巻く

「絆」を強固に

施設長 松浦郁太

昨年は日本中が大きな悲しみに見舞われた年でした。震災で亡くなられた方や未だに行方不明の方、被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

社会保障と税の一体改革については、少子高齢化が進み、日本の高齢化率23・1%、40年後には40%となり、生産年齢人口と高齢人口の比率は1対1の肩車型になると予測されています。将来の世代につけを残さないために、財源の確保、消費税アップが必要と政府は主張しています。野党や与党内でも反対論があり、どうなるかはわかりませんが、社会保障費が毎年1兆円ずつ増えるとなると、今後増々国の予算は借金地獄になり、今

のままではいけない事だけは確かであり、無駄の削減等の改革と並行し、痛みを伴う覚悟も私達の世代が請負わなければならないのだと思います。

福祉分野では、障害者総合福祉法の骨格提言が示され、法案が国会に出されるなど、平成25年8月には施行されるスケジュールとなっています。政府の円卓会議では、地域の新たな福祉ニーズに取り組みない社会福祉法人に福祉事業を任せられないため、NPO法人や企業が行政と協働して「支え合いと活気がある社会」を作るとの考えが提起されたとなつています。既に第2種社会福祉事業には企業が参入しています。唯一守られている第1種社会福祉事業にお

いても、将来的には聖域ではなくなつて来る事も予測され、危機感を持つて社会福祉法人の存在意義を社会に示す努力が求められています。

時代の流れや制度の変革があるうと、支援者の果たすべき使命は、障害を持つ人たちの命・暮らしを支える事に尽きます。その為に必要な支援者としての質の向上と理念は普遍であり、利用者の真の声を聴く力とそれを具体的な形にしていく事のできる支援の構築を目指し、利用者の笑顔を自分の喜びとして働いている環境づくりを模索すると共に、新しい年は「絆」を合言葉に、施設と職員、利用者、家族の関係を新めて見直し、さまざまな絆を結びつけて、より深めていけるよう人材確保と育成を図り、信頼を得られる施設づくりに取り組みたいと考えています。今年も関係各位の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

お餅を食べて一年の健康を祈願

どんどや

1月10日、本年最初の行事「どんどや」が、南海寮運動場において行われました。

朝からあいにくの雨で心配されましたが、午後には雨も上がり、利用者の皆さんもほつとされた様子でした。

年男の桑野翔さん（24歳）の点火によって檜（ヒノキ）に火が点火されると、竹が「パンパン」と音を立てて勢いよく燃え上がり、皆さんから拍手と歓声があがりました。そして、お待ちかねのお餅を焼き始めると、「まだかなあ」とそれぞれ



年男・桑野さんによる点火



竹にお餅をさして、じっくり焼けるのを待ちます



きな粉と特製の醤油をつけて頂きました 吉本さん

箸と皿を手に、お餅が焼けるのを待ち遠しそうに眺められていました。焼いたお餅はきな粉や醤油を付けて食べ、皆さん大満足。どんどやの火にあたりたり焼いた団子を食べると、若返る、虫歯にならないなどの言い伝えがあるそうで、今年も一年皆さん健康で元気に過ごせそうです。

（金子史）

年の瀬の一大イベント

餅つき・忘年会

12月22日、毎年恒例の餅つき忘年会を行いました。

当日は、天草警察署の独身



勢いよく振りかぶって餅をつく 上山さん

会（若草会）よりボランティアとして6名が参加して下さい、皆さんと一緒に餅つきを楽しまれたり、サンタに扮して、利用者全員にクリスマスプレゼントのサプライズもありました。利用者の皆さんも交代でお餅をついて、つきたてのお餅を美味しくそうに頬張

ショッピングと温泉を満喫

日帰り旅行

晩秋の香り漂う11月初旬、秋の温泉巡りと銘打って企画



買い物も旅行の楽しみのひとつ（TAIYOで買い物）杉浦さん

された今回の日帰り旅行は、利用者の方の希望もあり、河浦町の「愛夢里」と、有明町「さざなみの湯」の二手に別れての旅行となりました。それぞれ目的地へ向かう途中には、ショッピングセンターに立寄り、買い物を楽しまれ、目的地に到着すると、豪華



若草会の方と記念撮影 平井さん

つておられました。忘年会ではいつもお世話になっている方々もお招きし、カラオケや記念撮影をして一年間の労をねぎらいました。最後は若草会会長さんの万歳三唱で閉会となりました。

（倉田美晴）



豪華な料理を目の前に（愛夢里）森さん・長尾さん

な料理でお腹を満たし、その後は温泉も満喫されました。寮へ戻られた後は、それぞれで出された料理や温泉の感想を語り合うなど、旅の話に花が咲いていました。（松浦光賢）

行事アルバム
日帰り旅行
11月1・8・15日



坂本さんは靴を購入(イオン天草)



目玉商品が気になる鮫島さん(TAIYO)



たくさん買い物できました
久木田さん(TAIYO)



おいしそうな料理を前に笑顔の美女3人
中村さん・松下支援員・中元さん(愛夢里)



河浦町「愛夢里」で記念撮影



大型バスで移動
奥村さん



寺岡さん(愛夢里)



有江さん(さざなみの湯)



吉川さん(さざなみの湯)

行事アルバム
衣類購入
11月5日



たくさんの洋服に囲まれて
大興奮の三浦さん



とても熱心に洋服を選ばれていた桂木さん



とてもよくお似合いです 瀧下さん



衣類購入を毎回楽しみに
されている上原さん



作業用のズボンなどを数点購入
新美さん



森山支援員と洋服選び
佐々木さん



お祭りはとても賑わいました 濱さん・植尾さん・岡村さん



販売係が板についてきた 佐々木さん

行事アルバム
ふるさとまつり
11月23日



3人一緒にお祭り見学 富田さん・木下さん・熊部さん



終始ご機嫌の工藤さん



今年も焼きもろこしを販売。
皆様のご協力もあり完売できました！ 坂田さん



もちつきコーナーでハッスル!! ハッスル!!
山下さん



いろんなバザーコーナーを
廻られた 野崎さん



お腹もいっぱいになり
満足気な表情 上山さん



ふるさとまつりをとても楽し
みにされていた 黒木さん

行事アルバム
グループホーム忘年会
11月26日



瀬川瑛子の「命くれない」を熱唱 吉田さん



世話人さんとチークダンスでドヤ顔の畑中さん

山下さんの音頭で
「かんぱあ〜い！」



中嶋・佐藤両職員と乾杯 土本さん



里方さんと如田さんのデュエット

行事アルバム
餅つき・忘年会

12月22日



花田保護者会副会長にも
参加して頂きました



躍動感溢れるフォームで
餅をつく川端さん



平本支援員と一緒に餅つき 大笹さん



天草警察署「若草会」様よりクリスマスプレゼント



サンタとトナカイ 野口さん・田崎さん



「よいしょ～」山崎さん



濱洲さんによる開会のことば



岡部支援課長からお酌 江崎さん



高瀧評議員からお酌 丸木さん



お兄さんの富田評議員と 富田さん

立派な櫓(やぐら)が完成
山下さんと松本さん



行事アルバム
どんどや

1月10日

◀辰年(年男・年女)の皆さん

左から松本支援員・桑野さん・川端さん
桂木さん・野崎さん・山崎さん



炭でじっくり焼き上がるのを待つ山下さん



波戸さん



坂本支援員と一緒に餅を焼く金子さんと岩崎さん



勢いよく燃える櫓をバックに記念撮影

研修報告

福祉サービスにおける「相談面接」の重要性

支援員 森山房雄

1月17日・18日の2日間の日程で行われた相談面接技術研修会に参加してきました。全部で54名の参加があり、各グループに分かれて講義と演習などを通して面接技術と教わりました。この研修を受けて、最初は何故人援助の専門職に面接の技術が必要な

一番近くにあつての援助者である我々支援者が、利用者を傷つける存在であつてはならないという事の大切さです。日々いつも一緒にいる事が当たり前となり、その中で利用者の方々を知らず知らずの内に傷つけてはいないか？毎日を振り返りながら自らの支援の言動や行動を省みながら、寄り添う事の重要性を今更ながらに感じた良い研修会でした。

研修報告

熊本県知的障がい者施設協会 職員研修会

原点回帰〜支援者が果たすべき使命

支援員 松下加津美

11月22日、県の施設職員研修会に参加して来ました。全体会「支援者に求められること」と題して社会福祉法人同愛会理事長の高山氏の講演は、ご自身が運営されている施設の利用者の様子、利用者どう関わりその中で利用者の生活がどう変化した

ゆえに自分の意思で物事を決めていくことに不自由さを抱えているところにより添い、その人らしい考えで行動するときの支えが私たちの仕事としました。分科会の「食べるを支援するための口腔ケアセミナー」では、口腔ケアの必要性などを教えて頂き、口腔ケアの大切さを改めて学ぶことが出来たので今後の支援に役立てていきたいと思えます。

スプリングクラー 設置工事始まる



消防法の改正に伴うスプリングクラーの設置工事が、昨年12月5日より開始されました。

各居室や、日中活動などの場である多目的ホール、機能訓練室は勿論のこと、支援員室や食堂などあらゆる箇所に取付けを行い、2



作業員の方と親しげに話す野崎さん

月末日には工事完了の予定となっています。

屋内工事が多く、工事に興味のある利用者さんとは



消防署による工事中間検査

ても気になる様子で、作業現場に近づき見学されることもしばしば。作業員さんと顔なじみになられ、楽しく会話をされている場面も見受けられています。まずは安全第一で工事は進行しています。

あつてはならない事です。が、もしも火災が発生した場合には被害を最小限に留め、人的被害の防止に役立つことと思われれます。



がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」
今回は平成23年11月から平成24年1月に受賞された皆さんです。

11月<Nov>



さくら棟

まえだ せいすけ
(左) 前田 恵介 さん
保護帽の着用ができました

みはら えいじろう
(右) 三原 英二郎 さん
歩行をがんばりました



ひまわり棟

きのした とくまる
(左) 木下 徳丸 さん
毎週の予定表書きをされました

おがむら なおき
(右) 岡村 直樹 さん
紙漉き作業をがんばりました

12月<Dec>



さくら棟

やました きんや
(左) 山下 金也 さん
あいさつの習慣が身に付きました

みやざき まさし
(右) 宮崎 正士 さん
歩行をがんばりました



ひまわり棟

とみた すみよし
(左) 富田 純善 さん
下駄箱の掃除をがんばりました

はます ともかず
(右) 濱洲 友和 さん
貼り絵作業をがんばりました

1月<Jan>



さくら棟

みやざき みさえ
(左) 宮崎 みさえ さん
ちり紙折りをがんばりました

すぎ うら はるゆき
(右) 杉浦 春幸 さん
毎日身体運動に取り組みました



ひまわり棟

さか もと のぶ と
(左) 坂本 信人 さん
健康管理に努めることができました

はま つよし
(右) 濱 毅 さん
農作業や生産活動をがんばりました

通所センター



11月

くどう きょうこ
工藤 今日子 さん
歩行を頑張りました



12月

たさき さやか
田崎 沙弥香 さん
ピーズ通しを頑張りました



1月

よしなが かおり
吉永 佳央理 さん
歩行を頑張りました

南海寮の やさいなえ

野菜苗

4月より販売開始

今年も例年通り、野菜苗の販売をするべく今苗作りの真っ最中です。毎年たくさんの苗を皆様にご購入頂いています。

今年も皆さんに喜んで頂けるよう利用者の皆さんも頑張っています！

ご協力よろしくお願い致します！

各種1本50円

- ★ナス(千里長茄子)
- ★ピーマン(エース)
- ★トマト(桃太郎)
- ★ミニトマト(プチトマト)
- ★キュウリ(長華、南進)
- ★カボチャ(エビス)
- ★オクラ(丸オクラ)
- ★シシトウ



お電話での注文随時受け付けております！
【担当: 森山】ご協力よろしくお願ひします！
TEL 0969-23-3850/FAX 0969-22-4977

家族の声

釜崎由衣

面会に行くと「あ！ゆいちゃん!!」と少しはにかんだ笑顔で迎えてくれる叔母。そして明るく声をかけて下さる利用者・職員の方々。皆さんの声を聞き笑顔を見ると、知らぬ間に心が和らぎその雰囲気の中にある”福祉”の温かさ

に気付かされる。それと同時に、このような”福祉”が何気なしに広がる社会を築きたいという想いが湧く。様々な制度や福祉理想が唱えられても、障がいや疾病に対してどこか特別視している潜在意識があるからだ。でも元を辿れば障がいや疾病は単に少数派であつただけだ。普遍的な考えや意識を変えられれば、その少数派の中の1人であつても少しは生活しやす



写真左/釜崎 由衣さん(姪)
写真中央/梅本 緑美さん(叔母)
写真右/桂木美砂子さん(ご利用者)

い社会になるのではないだろう。単純な考えではあるが、意識次第で”福祉”が広がって行くのならもつと人との関わりを大切にしたい。知らぬ間に心が和らぐように――。

通所センターだより

これまで様々な活動や作業などを紹介してきましたが、今回は昨年末より開始した活動を紹介したいと思います。南海寮の寮道を登り終えた辺りに貯水槽があります。その近辺の環境整備を行っている所です。そこには刈った草などが敷き詰められ、それらが堆肥と化していた為に振り器で振り、細くなった土を一輪車で運び、花の育苗へ再利用出来る様に整理を行っています。この活動は6~7名の有志で協力し、それぞれ得意分野に分かれて進め、「こっちを手伝って」「早くしないと作業が進まないよ」などの声が聞かれて皆さんやる気満々で参加されています。今後も作業を続けていき、整地が完了した頃にはキレイな花が咲いて皆さんを楽しませる事が出来れば何よりと思っています所です。(金子孝史)



花の育苗に
使用するための
土づくり!!

●退職職員

井下 直美(支援員)

平成23年12月31日付退職

●新任職員

岡部 起世美(用務員)

平成23年11月1日付就職

タイトル「なんかい」

誰の作品でしょう?



今号のタイトル(書道)は佐々木さんが書かれました



「くまもん」の貼絵は利用者の作品です

研修参加報告

- 運営管理研修 (岡部)
- 中堅社員研修 (唐津)
- 施設協会施設職員研修(田中他)
- サービス管理責任者講習(松本他)
- ハートウィークフォーラム(中野)
- 退職共済事務説明会(佐藤)
- 施設協会福祉大会(森山)
- 九州女性施設経営者研究会(大仁田)

今後の予定

3月 お楽しみ演芸会

4月 保護者会総会

編集後記

新しい年がスタートしました。ここ何年も初詣へ出掛けていませんでしたが、今年の正月は数年ぶりに初詣へ出掛け、願掛けをした次第です。何をお願いしたかは……
 昨年は震災などで大変な一年でしたが、今年はまだみんな笑顔でいられるような一年となるよう願いたいものです。
 本年もどうぞよろしくお願ひします。
 (Oniemi)

機関紙「なんかい」は下記のホームページアドレスからもご覧になれます。

<http://www.nankairyou.or.jp/>

ご高覧頂き、ご意見・ご感想などありましたら下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

keiyukai@cup.ocn.ne.jp

南海寮 編集委員会